

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5 (b)	日々の排泄・食事・入浴介助だけではなく、介護計画にそったケアが実践されていないことがある。	日々行う介護計画内容(ケアプラン)とケアロボ(記録等)を連動させ、介護計画に沿ったケアが実践されるようになる。	日々の排泄・食事・入浴介助だけではなく、介護計画にそったケアが実践できるように、ケアロボのタイムラインの上部に、番号を付けたケアプランを入力しておき、ケアプランとケアロボを連動させて、支援内容を把握できるようにする。	6 か月	各担当者がタイムライン上部にケアプランを記入して支援内容が把握できるようになり、注意するようになってきた。
2	7 (d)	やむを得ず職員会議に参加できなかった職員は、職員会議の議事録を読み、分からないことは質問するようにしているが、今の状態だったら誰が読んだかわからない。	職員会議の議事録を誰が既読したか把握できるようにする。	職員会議の議事録に既読欄を設けた。	1 か月	10月26日の職員会議より、職員会議を休んだ人が議事録を読んだかどうかわかるように既読枠にサインor☺を押した。今後も行っていく。
3	35 (a)	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時には必ず説明しご家族様と話し合っているが、ご家族様だけではなく、ご利用者様自身の意思が少しでも伝えられる方に対してはしっかりされているうちに聞いておく必要がある。	重度化した場合や終末期のありかたについて、ご本人の意思を聴けるようにする。	現在少しでも意思疎通が可能なご利用者様には、ご自分の考えを聞き出して、ご利用者様自身の重度化した場合や終末期のありかたについての意見を尊重する	12 か月	意思疎通が出来る方に対しては少しずつ聞いている。また今後、新規にご入居される方に関しては、意思疎通が出来る方には、契約時にご家族様と一緒に意向を聞き、記録に残すこととする。
4	13 (a)	コロナ禍でなくても日常的な外出支援ができていない	フロアで過ごすだけではなく、日常的な外出を行えるようになる。	お花見や紅葉ドライブ等、行事としては外出をしているが、日常的に近所を散歩(車椅子対応含む)する等ができていないため、庭に出てお花を見たり、テラスで外を眺めたりして頂く。	12 か月	人員不足であることもあり、なかなか個別支援ができていない。
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った 職員会議時に話した
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した ご理解して頂ける人のみ
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした 手紙をアンケートに添付して説明、協力して頂いた
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った 職員会議時
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他(調査員の方からも具体的なアドバイスを頂いた)
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 結果報告は手紙でしたが話し合っていない
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()